

子どもと本の

未来のために

理事長 富安陽子

こんにちは。富安陽子と申します。この度、一般財団法人大阪国際児童文学振興財団の理事長に就任致しました。物語の書き手の一人に過ぎない私が、財団の理事長の任に就くというのは、どうにも場違いな感じがあつて申し訳ない気がするのですが、これまでの永きにわたる財団や財団関係者の方々の数々のご縁を思つて、何かお役に立てるのならと決心した次第です。しかし、お引き受けしてから改めて、私はこの財団について何も知らなかつたなあとつくづく考えさせられました。もともとは千里の万博公園内にあつた財団法人大阪国際児童文学館が今のようになつて、大阪府立中央図書館に移つた経緯も、財団の現状についても、詳細をよく理解していませんでした。今改めて過去の歴史を振り返ってみると、万博公園を出て既に十五年、今も財団が存続し、活動を続けていることが奇跡のようにさえ思われます。これも、当財団の活動の意義をご理解くださる多くの方々のご支援と応援あつてのことなのだと思います。本当にありがとうございます。

約九十万点の児童文学の図書資料を有する大阪府立中央図書館国際児童文学館は現在も、当財団を窓口にて、出版各社の皆さんの協力を得て、資料収集を続けています。図書資料は、国際児童文学館で永続的に保存、閲覧に供され、今後

も研究の場や教育普及活動の場などで活用されることになっていきます。

書き手の立場から述べさせて頂くと、出版された本が、たとえ絶版になつたとしても、こうやって、ちゃんと収蔵され、失われることなくあり続けてくれるというのは、とても嬉しく心強いことです。本が消費され、本の寿命がどんどん短くなつていく現在、どうすれば本の命を守るのか？という問いに対する一つの答えがここにある気がします。国際児童文学館が本を保存、維持していれば、いつか未来のどこかで、忘れられた本にもまた光が当てられるかもしれません。新しい研究者が、新しい読者と過去の本を繋いでくれるかもしれない。明治・大正から現代に至るまで出版された幾多の図書資料は、子ども達にとっても、社会にとっても、かけがえのない財産だと思つてます。一冊の本として結実した物語や、一冊の本に込められた様々な思いや知識や情報が消費され、失われてしまわないよう、どうぞこれからも財団へいっそうのご支持・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



国際講演会

「アメリカの絵本作家 ウォルター・ウィック 自作を語る」

アメリカ合衆国在住で、日本で大人気の『ミッケ』シリーズの作者であるウォルター・ウィックさんを講師に迎えて国際講演会を実施しました。第一部は自作についてのウィックさんの講演形式で、第二部は、対談形式で行いました。

次に、『ミッケ』シリーズ、チャレンジミッケ！シリーズで使われているさまざまな手法について具体的な作品を紹介しながら語られました。

〈対談の概要〉

『チャレンジミッケ！』シリーズ編集担当の喜入今日子さんが聞き手になって、参加者や聞き手の質問に回答する形で、作品を構成する積み木などの小物について、トリック・アイリュージョン・錯覚の作り方について、ストーリー展開について、シモアというキャラクターについて、実際の画像を使いながら説明されました。

○報告集を販売しています。

(1,100円)

- 開催日：令和6年11月2日（土）
- 場所：大阪府立中央図書館
- 講師：ウォルター・ウィック
アメリカ合衆国の絵本作家
- 対談聞き手：喜入今日子
（小学館第二児童学習局
プロデューサー）
- 参加者：42人
- 主催：当財団
- 賛助企業：サントリーホールディングス（株）、ムサシ・アイ・テクノ（株）

*子どもゆめ基金助成活動

〈講演の概要〉

まずは、子ども時代に初めて被写体になる人物を演出して写真を撮影したこと、それから芸術学校で絵画と写真を学んだこと、写真に写った錯覚に注目するようになったこと、ゲームの雑誌にパズルの写真を掲載し、それがきっかけで、『ミッケ』の絵本を制作したことが語られました。



オランダの絵本作家 ハリエット・ヴァン・ レークさん来日

オランダの絵本作家ハリエット・ヴァン・レークさんをお招きして、子どもも大人も参加できるワークショップを開催しました。

ワークショップ

「オランダの絵本作家 ハリエット・ヴァン・レークさんとミニ絵本をつくらう！」

- 開催日：令和6年7月7日（日）
- 場所：大阪府立中央図書館
- 通訳：松下宏子（関西大学非常勤講師ほか）
- 参加者：30人
- 主催：当財団

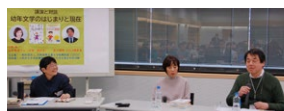


講演と対談 幼年文学のはじまりと現在

幼年期の読書にとって大切な「幼年文学」について、作家と研究者がそれぞれの立場で講演し、その後対談を行うイベントを開催しました。また、同時開催として、国際児童文学館の貴重な幼年文学作品が大阪府立中央図書館のエントランスで展示され、当財団も企画協力しました。

- 開催日：令和6年12月8日（日）
- 場所：大阪府立中央図書館
- 講師：石井睦美（作家、翻訳家）
宮川健郎（当財団理事長）
- 司会：土居安子（当財団）
- 参加者：43人
- 主催：当財団
- 後援：大阪府立中央図書館

*子どもゆめ基金助成活動
○報告集を販売しています。（1,100円）



小学生向けワークショップ 鏡をつかってチャレンジミッケ！ ウォルター・ウィックさんの 絵本の世界を楽しもう

ウィックさんが、『チャレンジミッケ！』に使われている鏡を使ったイリュージョンの場面の作り方を説明したあと、子どもたちは鏡と積み木などを使って、イリュージョンの場面を作り、写真を撮影して参加者で共有しました。



開催日：令和6年11月2日（土）
場所：大阪府立中央図書館
参加者：27人
主催：当財団
*子どもゆめ基金助成活動

講演会 絵本と鳥の巣のふしぎ 鳥の巣が教えてくれること

- 開催日：令和6年9月8日（日）
- 場所：大阪府立中央図書館
- 講師：鈴木まもる（絵本作家）
- 参加者：64人
- 主催：気になる本を読む会・当財団
- 協力：大阪府立中央図書館



オンライン講座 2023年に出版された 子どもの本から

2023年に出版された子どもの本約300冊をテーマやジャンル、年齢別に紹介し、現在の子どもの本の傾向について考える講座をオンラインで配信しました。

- 配信日：令和6年8月10日（土）
12月16日（月）
- 講師：土居安子（当財団総括専門員）
- 参加者：102人
- 主催：当財団

目録 童話と絵本のグランプリ

アマチュア作家を対象にした創作童話と絵本のコンクール「第41回日産童話と絵本のグランプリ」を実施しました。審査の結果、入賞作品38編を決定しました。

- 応募数
童話の部1,493点、絵本の部321点、計1,814点

●童話の部 大賞

「春風の魔法使い」

紫野さん

●絵本の部 大賞

「うらがわ」

河原久美子さん

●表彰式を令和7年3月8日（土）に大阪府立中央図書館ライティホールで開催しました。また、特別講演会を実施し、YouTubeで無料配信しています。

- 特別講演：「物語を書くコツ」
- 講師：古橋通夫（児童文学作家）
- 配信開始：令和7年4月2日（水）

また、第40回童話の部大賞および絵本の部大賞作品をB1出版から令和6年12月に出版しました。

童話の部『今日にかぎって』



樺島 ざくろ/作
奥野 哉子/絵

絵本の部『さんになだけのないしよのはなし』



スーギヤ/作

子どもに本を 手渡す人のために

●講座への講師派遣
子どもの読書活動にかかわるボラン

ティファ、司書、学校司書、教員、保護者や子どもの本に関心のある人等を対象とした、本の選び方や読書活動のあり方に関する研修や、本の楽しさを伝える講座、講演会、読書会の講師として、総括専門員、特別専門員を派遣しました。

・実施回数：42回

●気になる本を読む会

大阪府域の学校司書とともに、選書をはじめとする学校図書館活動に関わる研究会を実施しました。

・登録者数：27人
・実施回数：11回

●審査員・委員など

左記の事業等に、審査員や委員として参加しました。

- ・第20回大阪こども「本の帯創作コンクール」
- ・令和6年度「心の輪を広げる体験作文」審査（大阪府福祉部）
- ・第43回人権啓発詩・読書感想文審査会（大阪府府民文化部）
- ・「こころのえほんでスマイル」専門委員会（大阪いずみ市民生活協同組合）

●日本児童文学学会関西例会

第156回、157回を、大阪府立中央図書館多目的室で、令和6年5月18日（土）、令和7年3月23日（日）に開催しました。

主催：日本児童文学学会関西例会・当財団
協力：大阪府立中央図書館

●英語圏児童文学会 西日本支部

夏の講演会を、大阪府立中央図書館多目的室で、令和6年6月29日（土）に開催しました。

主催：英語圏児童文学会 西日本支部・当財団
協力：大阪府立中央図書館

子どもたちに おはなしの楽しさを

●おはなしモノレール
貸切モノレールの中でおはなしを楽しみ、彩都西の会場で人形劇を観る「おはなしモノレール」を実施しました。



日時：令和6年9月21日（土）
定員：240人
協賛：大阪モノレール、阪急阪神不動産（株）、（株）ベネッセコーポレーション
協力：彩都（国際文化公園都市）建設推進協議会
*子どもゆめ基金助成事業

●大阪府立中央図書館との連携
大阪府立中央図書館こども資料室でおはなし会6回と、人形劇1回を開催しました。
出演：職員、おはなしポップ、人形劇サークルぱれっと



●小学校や図書館でのおはなし会やワークショップ

・山田駅前図書館おはなし会（2回）
・国立国際美術館「ちっちゃなこともびじゅつあー」
・豊中市立東丘小学校での小学生を対象とした、物語体験ワークショップ（2回）
・同志社国際学院初等部おはなし作りワークショップ
・本の紹介を書こう（平安女学院中学校高等学校）

●児童養護施設でのおはなし会

大阪府域の児童養護施設でおはなし会や人形劇を開催し、絵本を寄贈しました。
おはなし会6回 人形劇3回
出演：おはなしポップ、人形劇団クラルテ

*（財）高津成和会助成事業

●日中韓子ども童話交流2024
日本、中国、韓国の子どもたちと一緒に絵本作りをしました。
日時：令和6年8月16日～23日
場所：日本

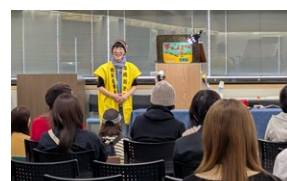
参加者：100名
主催：日中韓子ども童話交流事業実行委員会



●街頭紙芝居の美演

「むかしの紙芝居を楽しもう」
開催日：令和6年11月9日（土）
場所：大阪府立中央図書館
出演：（一社）塩崎おとぎ紙芝居博物館

主催：大阪府立中央図書館 国際児童文学館、当財団
協力：（一社）塩崎おとぎ紙芝居博物館



●「おはなしポップ」と「人形劇サークルぱれっと」の財団事業への参画
子どもと本をつなぐさまざまな事業に当財団所属のボランティアグループに参画していただきました。
また、「おはなしポップ」は、絵本やおはなしに関する研修を3回行いました。

本の海大冒険の充実

令和5年度にリニューアルしたインターネットで読みたい本が探せるサイト「本の海大冒険」に新刊図書のデータを追加し、いっそうの充実を図りました。

また他にも、「ドキドキ絵本づくり for Kids」や「マンガのひみつ大冒険！」も公開しています。

協力：（株）ジャスティス
*子どもゆめ基金助成事業



●ほんナビきつず
子どもの本をあらすじ。キーワードから探す

「ほんナビきつず」はインターネット

トで楽しく遊びながら、ことばや感情を選ぶことによってお気に入りの本に出会うシステムです。
キーワード、あらすじは当財団で独自に作成。令和6年度は1,885冊の本を追加しました。
共同開発：富士通 Japan (株)

子ども読書活動の 推進のために

●大阪府子ども読書活動推進施策への協力
大阪府が推進する「第4次子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動に関わる他の団体・組織とともに、府内の子どもの読書活動推進に努めました。

X(旧ツイッター)、インスタグラムで投稿しています



Youtube公式チャンネル

＜大阪国際児童文学振興財団公式チャンネルICLO＞では、Youtube版本の海大冒険（絵本編、読物編、YA編、科学編を毎週金曜日に、大人向けに紹介する「新刊子どもの本ここがオススメ」を毎月10日に配信しています。ぜひご覧ください。チャンネル登録もお願いいたします。

◆財団ホームページに、公開内容一覧と、動画へのリンクを掲載しています。

内容 もりだくさん！ メルマガ発行、 ぜひ会員登録を

毎月メールマガジンを発行しています。発行は、月1回、毎月20日頃に配信しています。登録は無料です。皆さまの登録をお待ちしています。

令和7年8月20日現在、登録数は4,471人です。内容例は左記のとおり。

- 1 お知らせ
財団からのお知らせコーナー
- 2 コラム
(1) 新刊書の紹介
専門職員が児童文学者と毎月一冊の本を選んで対談します。本に対する新しい見方が発見できます。
(2) 児童文学作家や作品についてのエッセイ
宮沢賢治作品などについて興味深いポイントや、二人の専門職員が交互に紹介します。
(3) 子どもの本の珠玉のことは
子どもの本や児童文学の評論書にある、印象深い言葉を紹介するコーナーです。
(4) 行って来ました！
展覧会や映画、講演会など、子どもの文化に関わる催しのレポート
- (5) 宮川健郎 私の出会った児童文学者たち
宮川健郎の視点から現代日本児童文学史の語り直しを試みています。
- (6) 腕だめし
STORY COMPE 2025
童話を「創る場」と「読む場」を提供します。
- 3 全国のイベント紹介
他団体等が実施するイベントを紹介
- 4 プレゼント
今号でとりあげた本やイベントグッズを抽選でプレゼントします。

共同研究を行いました

●明治以降の絵葉書に見る児童文学・児童文化の研究―巖谷小波旧蔵資料の分析―

明治・大正期の児童文学についての調査研究を外部研究者とともに行いました。

・研究会の開催(4回)
・研究メンバー…

浅岡靖史(白百合女子大学教授、大貫俊彦(千葉工業大学准教授、香川雅信(兵庫県立歴史博物館学芸課長、柿本真代(京都華頂大学准教授、金成妍(久留島武彦記念館館長、酒井晶代(愛知淑徳大学教授、中川理恵子(豊岡短期大学講師、松本育子(刈谷市美術館館長代理、目黒強(神戸大学大学院准教授、宮川健郎(当財団理事長、武蔵野大学名誉教授、遠藤純(当財団特別専門員、武庫川女子大学准教授、土居安子(当財団総括専門員・研究代表者)

●「古田足日と子どもの文化をめぐる総合的考察―蔵書・資料のデータベース化、調査を基に」

*独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業「基盤研究(C)」
(研究分担者…宮川健郎、令和2〜6年度)

●「冷戦期東ユーラシア文化外交と英米文学のジオポリティックス」

*独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業「基盤研究(A)」
(研究分担者…鷗谷花、令和6〜9年度)

●「日本における女性映画パイオニア…フェミニスト映画史の国際的研究基盤形成」

*独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業「基盤研究(B)」
(研究分担者…鷗谷花、令和2〜6年度)

●「国語科教育における『近代童話／童謡』の再評価と新教材の発掘をめぐる調査研究」

*独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業「基盤研究(C)」
(研究分担者…宮川健郎、土居安子、令和4〜7年度)

●「中華世界の児童文学に関する基礎的研究」

*学研究費助成事業「基盤研究(C)」
(研究分担者…土居安子、令和6〜9年度)

論文集

『大阪国際児童文学振興財団研究紀要』第38号の発行

今号も、大阪府立中央図書館国際児童文学館の資料を活用した研究論文を公募しました。6編の応募があり、2編を採用しました。

【目次】

ラヂオ放送「子供の時間」聴取調査の検討―1928年から1932年― 畠山兆子

【研究ノート】

巖谷小波と久保田米斎―巖谷家所蔵「巖谷小波絵はがきコレクション」を手がかりとして― 土居安子
高尾亮雄(楓蔭)の研究(2)―ラヂオ放送黎明期における先駆的活動―

遠藤純
十五年戦争下の雑誌「童話教育」―満洲との関わりを中心に― 寺前君子
「我々」が「少年文学」をめざす過程―古田足日資料「少年文学宣言」草稿を読む― 佐藤宗子

「コロボックル物語」シリーズにおけるコロニアリズムの検討―アイヌ民族と和人の観点から― 鈴木宏枝

宇野亞喜良の絵本表現について―絵本デビュー作から『あのこ』(1996年)をめぐる― 松本育子

出版や展示の企画を行いました

貴重な資料の複製や作家選集、論文集など児童文学・児童文化に関わる各種出版事業の相談に応じています。

●「電子図書館まなびライブラリー」

(株)ベネッセコーポレーションから受託し、選書の支援を行いました。

●「出版社等による企画協力業務の受託」

(公財)伊藤忠記念財団「子ども文庫助成事業」の助成団体の選定を行いました。

資料を販売しています

●財団発行資料

・『2024年度国際交流事業報告集』国際講演会「アメリカの絵本作家ウォルター・ウィック自伝を語る」子ども向けワークシヨップ「鏡をつかってチャレンジミッケ!ウォルター・ウィックさんの絵本の世界を楽しもう」 1,100円
・『2024年度講演会報告集』講演と対談「幼年文学のはじまりと現在」(石井睦美・宮川健郎) 1,100円
・「国際児童文学館紀要」1号〜26号
・「大阪国際児童文学振興財団研究紀要」27号〜38号

1,100円〜2,750円

そのほか、国際講演会報告集、論文集など多数あります。ご希望の方はお問い合わせください。(価格が税込)

寄付のご報告とお願い

令和6年度も多くのご支援をいただきました。深く感謝申し上げます。IICLOの経営状況はまだまだ厳しい状況にあります。継続してのご協力をお願い申し上げます。

【ご寄付の種類】

◇継続寄付(毎年、毎月) ◇単発寄付

【ご寄付の方法】

◇クレジットカード

ウェブサイト「Syncable(シンカブル)」の大阪国際児童文学振興財団ページから

◇ゆうちょ銀行 振替口座に払い込みください。

□口座番号 00910-8-282098

加入者名 (一財)大阪国際児童文学振興財団

※ 他の金融機関からの振込の場合

店名 ○九九店(ゼロキウキウ店)

店番 099

□口座番号 0282098

1万円以上ご寄付をいただいた方には

佐々木マキさんデザインのイクロちゃんグッズをプレゼントしています。

◆令和6年度は、309件

2,819,693円のご寄付をいただきました。ありがとうございました。

(ご寄付いただいた方々のお名前を別紙をご覧ください)



資料のご寄贈をありがとうございました

今年度も出版社、作家、研究者、同人誌サークルなどから、児童書や児童書に関する資料などの寄贈をいただきました。これらの資料は、永久保存および一般の利用に供するため、大阪府立中央図書館国際児童文学館に引き継ぎました。

ご寄贈いただいた方々のお名前は別紙をご覧ください

図書 3,320冊
雑誌 2,716冊
その他資料 1,025点
計 7,061点

編集後記

「大阪国際児童文学振興財団レポート第15号」をお届けいたします。当レポートでは、令和6年度に実施しました主な事業を掲載しています。公式の事業報告、決算報告はホームページで公開しています。

図書資料の寄贈・寄付金・各種の事業協力など、皆さま方のご支援・ご協力に深く感謝いたします。引き続き皆さま方のご支援をお願い申し上げますとともに、当財団の運営について、忌憚のないご意見をお願い申し上げます。